

Hyogo

マNDER 経済

ウィル



1 管理部門再生

「私がやるしかない」腹をくくった

不動産のウィル（宝塚市）は、平日の仲介手数料を割引くなどユニークな施策で知られる。近年は中古物件を仲介してリフォーム工事を提供するビジネスモデルで業績を伸ばしてきた。2011年から8年間代表取締役を務め、現在は取締役の友野泉さん（49）は20代で株式上場の実務を任された。リーマン・ショックで会社が経営危機に陥った際は金策に奔走。私生活では40代で2人の子の母になった。何事にも一生懸命、ひた走る。

1999年に入社しました。新卒では4期生になります。2011年のこと。創業社長の岡本（現相談役の伊地知俊人氏）が、役員が集まる場で突然「栗野（友野氏の旧姓）を代表にするから」と言いました。当時すでに取締役でしたが、私はトップの器ではありません。ただ、トップを支える力はあると思っており、岡本にもそう伝えていたので、驚きました。

岡本代表取締役社長と友野代表取締役。二人三脚の経営が始まった。

14年に岡本が会長になるタイミングで、営業部門を統括していた坂根（勝幸現会長）が代表権を持つことになり、岡本から「2人で運営してほしい」と言われました。私は管理部門一筋ですから、坂根には私が見えていない営業の現場感覚がある。逆に坂根には、管理サイドの世界が見えません。だから何でも相談していました。

意見が違おうと議論になります。ただ、けんかにはならなかった。言葉を尽くさなくても分かり合える関係でした。坂根が1人で代表をやりたいと言ったので、19年に代表権を返上しました。

代表でなくなったから、責任がないというものではありません。取締役になる前から、会社のことは「わがこと」として考えてきました。取締役であろうがなかろうが、全て自分に責任があると思っています。

30代で上場企業の代表取締役となった。順風満帆の社会人生活を送ったと思われがちだが、入社した年に突然、辞めると宣言している。

入社して10カ月目のことです。周りに相

談も根回しもなく、「辞めます」と会社に伝えました。私はお母さんっ子なんです。その母ががんになって。手術は成功したけど、この先どうなるかわからない。再発するかもしれないので、退職して実家に帰るつもりでした。当時は広報部門にいて採用の担当でしたが、その年の夏には残業の少ない総務部に異動させてもらいました。

そんな状況で総務部に行ったら、なんと部の実態がなかったんです。例えば経理業務は、領収書を集めて税理士事務所に丸投げしていました。

当時、「日本一を目指す」と高らかに宣言していた会社のスカスカな管理部門を見て、衝撃を受けました。「営業の人がどれだけ志を持って頑張っても、この土台のなさでは、いつかつぶれる」と、スイッチが入ってしまった。「私がやるしかない」と腹をくくりました。

会社にとって大事なことは、創業以来たまって大量の書類と、社長の頭の中にあつたという。

岡本しか開けない棚から重要書類を引

張り出し、1枚ずつ目を通したのです。そこで得た社員情報や業績などの数字をひたすら入力し、自分なりに分析しました。もう一つは社長の考え方を知ること。金魚のふんのようにつきまとって社長の判断や指示をメモし、一日の終わりに整理していました。

屋間は通常の業務があるので、深夜に事務所に残って一人で作業しました。今ではそんな働き方は許されませんが、連日、会社に泊まり込みです。往復40分の通勤時間が惜しかったので、ついには事務所から2分の部屋を借りました。実家にはほとんど帰れませんでした。幸い母は今も元気になっています。

仕事にまい進する中、目標が芽生えた。

総務の土台づくりをしながら「リーダー（主任級の役職）になりたい」と言い続けました。ひたすら自分のノートに書き、同期への手紙にも熱い思いを書き連ねました。会社のため、良かれと思って一生懸命に取り組んでいたのも、自分の言葉の信頼性を高めるには役職がほしかったのです。でも、なれませんでした。

社長に理由をたずねました。「一度、簡単に辞めると言った人間は信用できない」。ぴしゃりと言われてしまって。納得しましたが、諦めずにこれまで通り仕事に取り組みました。その姿を見てもらったのか、翌年、リーダーに昇格できました。

（聞き手・塩津あかね）

時代を駆ける経営者の半生や哲学を紹介するマイストーリー。24人目はウィルの元代表取締役、現取締役の友野泉さんに語ってもらう。

◇原則、毎週月曜に掲載します。

📖 ウィル 不動産会社の同僚6人が1993年、宝塚市でウィル不動産販売（現ウィル）を創業。95年に法人化した。2007年にジャスダック市場（当時）に株式を上場。中古物件の仲介やリフォームを手がける。営業エリアを北摂・阪神間から東京や名古屋に拡大し、現在は国内に26拠点がある。25年12月期の連結売上高は約149億円、従業員約370人。東京証券取引所スタンダード市場に上場する。

マイストーリー ～経営者は語る



友野 泉 (49)

＝元代表取締役、現取締役

ともの・いずみ 1976年、埼玉県生まれ。4歳で小野市に転居し、小野高校、神戸商科大（現兵庫県立大）商経学部卒。99年ウィル不動産販売（現ウィル）。2005年取締役、11年代表取締役。14年から坂根勝幸氏と2人で代表権を持ち、19年に返上した。現在はグループ5社の取締役も務める。宝塚市在住。



会社での奮闘を語るウィルの友野泉取締役
＝宝塚市逆瀬川1（撮影・丸山桃奈）